

## 第2 坂和と映画

## 1. 自己紹介

1949(昭和24)年 愛媛県松山市生まれ(団塊世代) 中・高一貫受験 男子校、学生運動、司法試験、公害訴訟(10年) 都市再開発・まちづくり(23年間) 都市法政策 出版・講義、映画評論、旅行記(中国へ9回)

## 2. 私と映画

- (1) 小学時代(1955~61年)  
東映チャンバラ映画、『にあんちゃん』(59年)
- (2) 中学・高校時代(1961~67年)  
3本立て55円(洋画+日活)  
学校推薦(『ベン・ハー』など) 試写会時々
- (3) 大学時代(1967~71年)  
時々、名画座系(3本立て150円?)  
日活ロマンポルノ
- (4) 司法修習生(1972~74年)  
深夜映画+ビデオ数台(年未年始)
- (5) 超多忙時代(1974年からずっと)  
深夜映画+ビデオ数台(年未年始)
- (6) 自社ビル移転、ホームページ開設(2000~07年)  
映画評論執筆開始 試写室通い  
今年年間300本、『シネマ1~14』出版  
・『シネマルーム5』 中国映画66本  
・『シネマルーム6』以降 中国映画61本
- (7) 映画検定 キネマ旬報社・キネマ旬報映画総合研究所主催  
・『「映画検定」公式テキストブック』  
・『「映画検定」公式問題集』  
・4級合格(06年7月)  
・3級合格(07年1月)
3. 私の1本・私のベスト5
- (1) 私の1本 『サウンド・オブ・ミュージック』(高3)
- (2) 私のベスト5  
洋画  
『風と共に去りぬ』(39年)  
『ウエスト・サイド物語』(61年)  
『卒業』(67年)  
『太陽がいっぱい』(59年)  
『さらば、わが愛 霸王別姫』(93年)
- 邦画  
『砂の器』(74年)  
『幸福の黄色いハンカチ』(77年)

『人間の条件』(59~61年)

『蒲田行進曲』(82年)

『誰も知らない』(04年)

## 4. 私の愛読書

- (1) 昔『スクリーン』『映画の友』  
(2) 今『週刊20世紀シネマ館』50冊+別巻10冊  
『キネマ旬報』  
(3) 参考書:『中国映画の明星』  
『中国映画の明星 女優編』  
(石子順・03年・平凡社)

(4) 私の夢『坂和流シネマと法律』の出版

## 5. 坂和的映画論

- (1) なぜ映画が面白いのか?  
人間の本性に迫る、人生の縮図、知らないことを体験、歴史や恋愛の勉強、夢と希望、元気の素
- (2) なぜ映画評論を書くか  
書かないと忘れる、書くことによって感動を記録、他者との議論のネタ、読者にも夢と希望と元気を与える
- (3) 何が好きか?  
人それぞれ、必ず好きなジャンルあり
- (4) 映画評論の何が面白いのか?  
映画の話題は老若男女に共通  
人間の本性に早く迫れる。本性が早く見れる、異なる意見、見方、感性を知る
- (5) こだわりがわかる!  
私のこだわりは? あなたのこだわりは?  
面白い人がたくさん・・・

## 6. 私の映画評論の特徴(ユニーク性)

- (1) 弁護士の視点  
法廷のあり方、各種の法律上のテーマ  
その他(危機管理のシステム)
- (2) 都市法政策の講義、都市問題の実践からみる視点  
都市・住宅政策、公害
- (3) 歴史大好き人間の視点  
中国、韓国、ヨーロッパ中世
- (4) 文学大好き  
シェイクスピア
- (5) 戦争映画検討の視点
- (6) 日本人論追及の視点(西欧や中国との対比)
- (7) 恋愛大好き、ピュアな少年の視点(?)
- (8) エロおやじの視点
- (9) 時事問題検討の視点

## 第7 テーマその1 法廷モノ+法律モノ

<法廷モノ>

### 1. 日本の裁判員制度

- 『12人の優しい日本人』(91年)
- 『裁判員 決めるのはあなた』(03年) — **エンタメ**

### 2. アメリカの陪審制度

- 『十二人の怒れる男』(57年)
- 『アラバマ物語』(62年)
- 『ザ・ファーム 法律事務所』(93年)
- 『ペリカン文書』(93年)
- 『依頼人』(94年)
- 『評決のとき』(96年)
- 『相続人』(97年)
- 『レインメーカー』(97年)
- 『ニューオーリンズ・トライアル』(03年) — **資料6**

<法律モノ>

### 1. 保険金詐欺

- 『黒い家』(99年)

### 2. 死刑制度

- 『グリーンマイル』(99年)
- 『ザ・ハリケーン』(99年)
- 『13階段』(03年)

### 3. 医療保険制度

- 『ジョンQ』(02年)

### 4. 心神喪失

- 『39 刑法三十九条』(99年)

### 5. 安楽死

- 『海を飛ぶ夢』(04年) — **エンタメ**
- 『ミリオンダラー・ベイビー』(04年)

### 6. 親権者

- 『アイ・アム・サム (I am Sam)』(01年)
- 『2番目に幸せなこと』(00年)

### 7. 少年犯罪

- 『深紅』(05年)
- 『17歳の風景 少年は何を見たのか』(05年)
- 『カミュなんて知らない』(05年)

### 8. 住宅問題、欠陥住宅

- 『パニックルーム』(02年)
- 『ハリウッド ホンコン』(01年)
- 『上海家族』(02年)
- 『ホーンテッドマンション』(03年)
- 『おまけつき新婚生活』(03年)
- 『ダーク・ウォーター』(05年)
- 『灰暗い水の底から』(01年) をリメイク
- 『悪魔の棲む家』(05年)

### 9. 二重処罰

- 『ダブル・ジョパディー』(99年)

### 10. 優生保護法

- 『ヴェラ・ドレイク』(04年) — **エンタメ**

## 第8 テーマその2 企業戦士モノ

- 『金融腐蝕列島・呪縛』(99年) 原作 高杉良  
役所広司(銀行、副部長、40歳代) — **資料7**
- 『燃ゆるとき』(06年) 原作 高杉良  
中井貴一 — **資料8**  
(カップ麺製造業、資材担当営業マン、アメリカ進出)
- 『不撓不屈』(06年) 原作 高杉良  
滝田栄(税理士、63年、飯塚事件) — **資料9の1、2**
- 『CEO(最高経営責任者)』(02年)(中国映画)  
(ハイアール) — **資料10の1、2**
- 『県庁の星』(05年)  
織田裕二 — **エンタメ**  
(K県庁産業政策課係長、民間との人事交流研修)

## 第9 テーマその3 「あの戦争と戦後62年」を考える

— **エンタメ** 、 、 、

### 1. 戦争映画

- 『明治天皇と日露大戦争』(57年)
- 『ハワイ・ミッドウェイ大海空戦 太平洋の嵐』(60年)
- 『太平洋の翼』(63年)
- 『太平洋奇跡の作戦 キスカ』(65年)
- 『日本のいちばん長い日』(67年)
- 『連合艦隊司令長官・山本五十六』(68年)
- 『日本海大海戦』(69年)
- 『トラ・トラ・トラ!』(70年)
- 『二百三高地』(80年)
- 『ローレライ』(05年)
- 『男たちの大和/YAMATO』(05年)
- 『あした元気にな~れ! ~半分のさつまいも~』(05年)
- 『出口のない海』(06年)
- 『父親たちの星条旗』『硫黄島からの手紙』(06年)
- 『俺は、君のためにこそ死にいく』(07年)

### 2. 劇団四季ミュージカル「昭和歴史三部作」

- 『李香蘭』『南十字星』『異国の丘』

### 3. 遊就館(靖国神社)を考える 3月25日見学

### 4. 戦後60年 あの戦争を考える

- 読売新聞「検証・戦争責任」

## 第10 テーマその4 あの懐かしい時代は今

昭和30年代を考える

- 『ALWAYS 三丁目の夕日』(05年)
- 『カーテンコール』(04年) — **エンタメ**

## 第11 テーマその5 映画ネタにみる面白い日本人論

### 1. 『タイタニック』(97年)

2006年5月4日付産経新聞「産経抄」

『ある豪華客船が航海中に沈没しつつあった。船長は救命ボートの定員に限りがあるから、女性と子供以外は船に残

るよう求めた。米国人には「Q1」、英国人には「Q2」、  
イタリア人には「Q3」、そこで日本人に対しては「Q4」  
といったとか』さて、Q1～Q4の答えは・・・？

2. 『素晴らしきヒコーキ野郎』(65年)  
アメリカ、イギリス、イタリア、ドイツ、フ  
ランス、日本(石原裕次郎)

## 第12 テーマその6 「偽装」国家からの脱却は・・・？

1. 2005～2006年は偽装のオンパレード  
(VS『国家の品格』(藤原正彦)  
耐震強度偽装問題、ホリエモン、公認会計士(港陽  
監査法人、中央青山監査法人) 村上ファンド)
2. 『不撓不屈』から学ぶこと
3. 危機管理はこれでよいのか  
・『LIMIT OF LOVE 海猿』(06年)  
・『日本沈没』(06年)(VS『ポセイドン』(06年))

## 第13 中国(映画)を考える

1. 中国の歴史のお勉強
- 1931年9月18日 柳条湖事件  
1937年～ 日中戦争  
1945年 終戦  
1947年2月28日 台湾 二・二八事件  
『非情城市』(89年)
- 1949年10月 中華人民共和国建国  
台湾 中華民国
- 1972年 日中共同声明 国交回復
- 1997年 香港返還  
毛沢東 鄧小平 江沢民 胡錦濤
2. 中国(大陸)映画の系譜
- (1) 戦争史～終戦(1930年代～1945年)
- (2) 戦後(1945年～)
- (3) 文化大革命(1966～1976年)
- (4) 北京電影学院再開(1978年)  
第1期生(陳凱歌・張藝謀・田壯壯)
- (5) 第六世代監督  
張元(チャン・ユアン)監督  
・『緑茶』(02年)  
・『我愛你(ウォ・アイ・ニー)』(03年)
- (6) 第七世代監督  
小江(シャオ・チアン)監督  
・『玲玲の電影日記』(04年)  
張楊(チャン・ヤン)監督  
・『胡同のひまわり』(05年)  
(04年6月14日付朝日新聞)
3. 中国映画から学ぶこと
- (1) 1980年代 第五世代監督(張藝謀・陳凱歌)  
・『黄色い大地』(84年)

- ・『紅いコーリャン』(87年)
- (2) 文化大革命  
・『小さな中国のお針子』(02年)  
・『青い嵐』(93年)  
・『延安の娘』(02年)
- (3) 阿片戦争  
・『阿片戦争』(59年)  
・『阿片戦争(鴉片戦争)』(97年)
- (4) 『国姓爺合戦』(01年)  
台湾をオランダから解放、鄭成功
- (5) 中国現代史  
・『活きる』(94年)  
・『宋家の三姉妹』(97年)  
・『鉄西区』(03年)
- (6) 日中戦争  
・『戦争と人間/3部作』(70・71・73年)  
・『赤い月』(03年)(原作 なかにし礼)  
満州からの引き揚げ体験  
・『鬼が来た!』(00年)

## 第14 韓流ブームと日本人

1. 歴史のお勉強
- 1910年 韓国併合  
1950～1953年 朝鮮戦争  
1948年 大韓民国、  
朝鮮民主主義人民共和国建国  
1965年 日韓基本条約調印
2. スクリーン・クォーター制度  
韓国特有の制度である「スクリーン・クォーター」を4  
0%から20%に引き下げる
3. (1) 『冬ソナ』ブーム  
(2) 『チャングム』ブーム
4. 韓国映画2題 力道山+大山倍達  
・『力道山』(04年)  
・『風のファイター』(04年)
5. 韓国南北分裂  
・『JSA』(00年)  
・『シュリ』(99年)  
・『SILMIDO(シルミド)』(03年)  
・『二重スパイ』(02年)  
・『送還日記』(03年)  
・『DMZ非戦闘地帯 追憶の三十八度線』(04年)  
・『トンマッコルへようこそ』(05年)
6. 絶対お薦めキム・ギドク監督  
・『鱈』(96年)  
・『魚と寝る女』(00年)  
・『受取人不明』(01年)  
・『悪い男』(01年)  
・『春夏秋冬そして春』(03年)

エンタメ

- ・『サマリア』(04年)
- ・『空き家』(04年)
- ・『弓』(05年)
- ・『絶対の愛』(06年)

## エンタメ

- 『男たちの大和/YAMATO』(50億)  
(4)10億円超の邦画 28本
- 2. 邦画の人気はホンモノ?  
(1) 李相日監督の問題提起  
製作委員会方式 テレビとタイアップ  
(特にフジテレビ)

### 第15 台湾映画もお忘れなく

1. 絶対お薦め蔡明亮(ツァイ・ミンリャン)監督
  - ・『楽日』(03年)
  - ・『西瓜』(05年)
2. 絶対お薦め侯孝賢(ホウ・シャオシエン)監督
  - ・『非情城市』(89年)
  - ・『百年恋歌』(05年)

- 大量宣伝とシネコン方式  
作家性の喪失
- (2) 単館上映ながら上質な映画の健闘  
『フラガール』(李相日監督)  
『ゆるる』(西川美和監督)
- (3) シネコンVS単館(こだわり映画館)  
映画上映システムを考える必要
- 3. 映画盗撮防止法案成立  
映画館での盗撮を禁止する法案  
違反したら10年以上の懲役か1千万円以下の罰金
- 4. アフリカ映画花盛り  
『ホテル・ルワンダ』(04年)  
『ルワンダの涙』(05年)  
『ダーウィンの悪夢』(04年)  
『ラストキング・オブ・スコットランド』(06年)  
『ツオツィ』 R-15
- 5. アカデミー賞VS インディペンデント・スピリット・アワード賞VS ゴールデン・ラズベリー賞  
第79回アカデミー賞の結果をどう見るか?  
『リトル・ミス・サンシャイン』(06年)  
『氷の微笑2』(06年)

### 第16 ヒトラー映画と東西ドイツの統一

- 『ヒトラー～最期の12日間～』(04年)
- 『グッバイ、レーニン!』(03年)
- 『善き人のためのソナタ』(06年)
- 『ドレスデン、運命の日』(06年)

### 第17 近時のドキュメンタリー映画の傑作

- 『蟻の兵隊』(05年)
- 『ディア・ピョンヤン』(05年)
- 『ひめゆり』(06年)
- 『TOKKO - 特攻 』(07年)
- 『ヒロシマナガサキ』(07年)

### 第18 外国で活躍する日本人監督と日本人俳優

1. 昔 三船敏郎、石原裕次郎、黒澤明監督  
小津安二郎監督  
今 北野武監督
2. 高倉健 『君よ憤怒の河を渉れ』(76年)  
『単騎、千里を走る。』(05年)
3. 渡辺謙、小雪 『ラスト・サムライ』(03年)
4. 役所広司、菊地凜子 『バベル』(06年)
5. 真田広之 『PROMISE』(05年)  
『サンシャイン 2057』(07年)

### 第19 映画にまつわる近時の話題

1. 「邦高洋低」邦画の復活!  
(1) 06年興行収入2025億円のうち邦画が  
1077億(53%)  
(2) 公開本数 邦画417本、洋画404本  
(3) 50億円超の邦画6本  
『ゲド戦記』(76億円)  
『LIMIT OF LOVE 海猿』(71億)  
『THE 有頂天ホテル』(60億)  
『日本沈没』(53億)  
『DEATH NOTE  
the Last name』(52億)

### 第20 SHOW - HEYシネサークルの発足

1. その趣旨 設立宣言  
「楽しく」「勉強」
2. 会報「わらじ通信」創刊号(07年4月)
3. 1~3月期のベスト1  
『ブラックブック』(06年)
4. 4~6月期のお薦め映画  
『オール・ザ・キングスメン』『バベル』等
5. SHOW - HEYの名画座(1)  
『ニュー・シネマ・パラダイス』(89年)
6. 是非入会を! ご意見を!

### 第21 私の近時の出版

1. 『いまさら人に聞けない「交通事故示談」  
かしこいやり方』増刷決定!
2. 『建築基準法の読み解き方ー実践的弁護士の視点から』  
(仮題)民法研究会 校正中 7月出版予定
3. 『景観紛争の上手な対処法』原稿執筆中 今年中(?)
4. 『SHOW - HEYシネマルーム12』(4月末完成)
5. 『SHOW - HEYシネマルーム13』目次構成中  
以上